

アイデアを最先端のデジタル技術で形にしてみませんか。広島工業大

(広島市佐伯区)は7月から、デジタル工作機器を備えた「Fab Lab (ファブラボ)」を一般開放している。子ども



から大人まで幅広い世代がものづくりを楽しめる施設だ。

小型レーザーカッターで革のしおり、3Dプリンターでフィギュア、大型ミシンで刺しゅう作品などができる。設計から加工までデジタルデータを活用し、高精度に仕上げるのが特徴だ。専用シートに印刷したデザインを熱で圧着して加工する転写プリントや、縫製ミシンも用意している。

## 最先端機器で形にしよう

広島大ファブラボ

(折見汐織)

利用者が機器を操作するのが原則。スタッフから個別のサポート(30分千円)も受けられる。スタッフの工学部2年田村陸人さん(20)は「原案はその場で考えてもいい。自由な発想を形にする手助けをしたい」と話す。施設利用料は一般500円、大学生以下無料。機器使用料が別途必要で、ホームページから事前に予約する。



3Dプリンターで制作した作品。デジタル工作が楽しめる



大型ミシンでTシャツに刺しゅうする学生  
(いずれも撮影・宮原滋)

予約はこちら▼

